

「英語教育のあり方と課題：国際共通語としての英語を考える」

2011年12月16日

鳥飼玖美子（立教大学大学院特任教授）

1. これからの英語教育は2種類に分化
 - 1) 異文化理解としての英語
 - 2) 国際共通語としての英語日本学術会議『日本の展望 学術からの提言2010』
「21世紀の教養と教養教育」
「外国語は異文化への覗き窓」
「英語教育に関しては文化的負荷を軽減する」
2. 国際共通語 English as a Lingua Franca としての英語
 - 1) ネイティブ規範からの解放
 - 2) 基準は「分かりやすさ(intelligibility)」
 - 3) 国際共通語としての核(lingua franca core)
 - 4) 文化的要素を捨象できるか
 - 5) 動機付けの問題
統合的と道具的志向；国際的志向性
3. 英語教育の課題
 - 1) 何のための英語か
 - 2) 「コミュニケーション能力」の構成要素
(文法能力、ディスコース能力、社会言語学的能力、方略能力)
 - 3) 異質な他者との相互行為
発信、そしてインターアクションへ
 - 4) 母語とアイデンティティ
 - 5) 「国際共通語」と「異文化理解」

参考文献

Jenkins, J. (2000). *The phonology of English as an international language*. Oxford University Press.

Jenkins, J. (2007). *English as a lingua franca: attitude and identity*. Oxford University Press.

鳥飼玖美子(2011)『国際共通語としての英語』講談社現代新書